



JOINT STAFF PRESS RELEASE

<http://www.mod.go.jp/js/>

25. 7. 10
統合幕僚監部

平成25年度1四半期の緊急発進実施状況について

1 全般

平成25年度1四半期の緊急発進回数は115回であり、前年度の同時期と比べて33回増加しました。

推定を含みますが、緊急発進回数の対象国・地域別の割合は、ロシア機約27%、中国機約60%、北朝鮮機約8%、その他約5%でした。

2 方面隊別の状況

平成25年度1四半期の方面隊別の状況については、北部航空方面隊が20回、中部航空方面隊が14回、西部航空方面隊が6回、南西航空混成団が75回の緊急発進を実施しました。

前年度の同時期と比べて中部航空方面隊及び南西航空混成団の緊急発進回数が増加し、北部航空方面隊及び西部航空方面隊の緊急発進回数が減少しました。

3 平成25年度1四半期の特徴

ロシア機に対する緊急発進数は31回であり、前年度の同時期に比べて31回減少しました。そのうち3件の事例については、我が国の領空に沿って長距離を飛行する等の特異な飛行を行ったとして公表しました。

中国機に対する緊急発進回数は69回であり、前年度の同時期に比べて54回増加しました。

また、北朝鮮機と推定される航空機の活動に対して、平成21年度1四半期以来4年ぶりに9回の緊急発進を実施しました。

推定を含みますが、ロシア機の中では哨戒機、中国機の中では戦闘機に対して多く緊急発進を実施しました。領空侵犯となる事例はありませんでした。

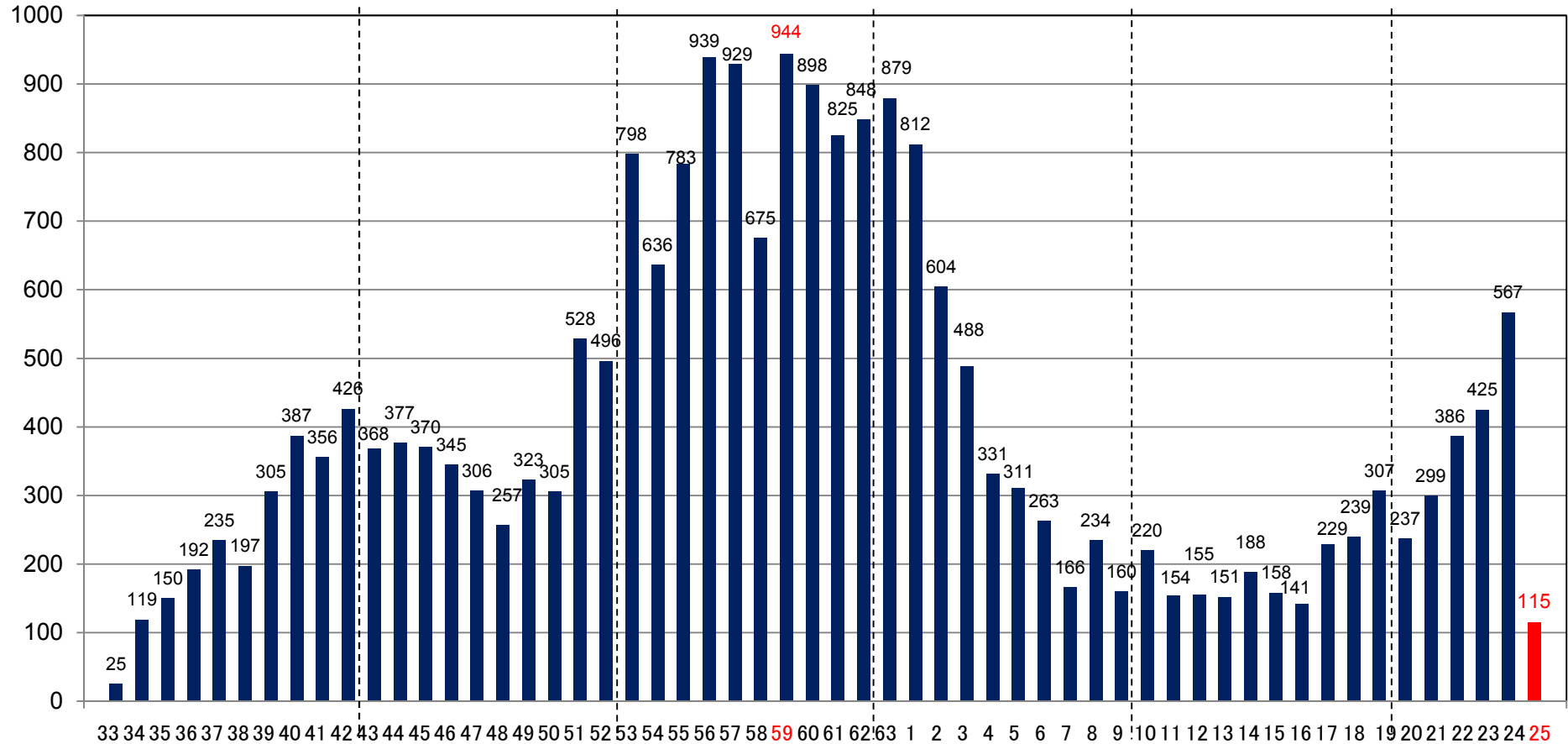
当該期間は、平成25年4月1日～平成25年6月30日です。

- 添付資料：
- 1 年度緊急発進回数の推移
 - 2 航空方面隊別緊急発進回数の推移（過去5年間）
 - 3 国・地域別緊急発進回数（過去5年間）
 - 4 緊急発進の対象となったロシア機、中国機及び北朝鮮機の飛行パターン例
 - 5 25年度における公表事例一覧（1四半期）

年度緊急発進回数推移

回数

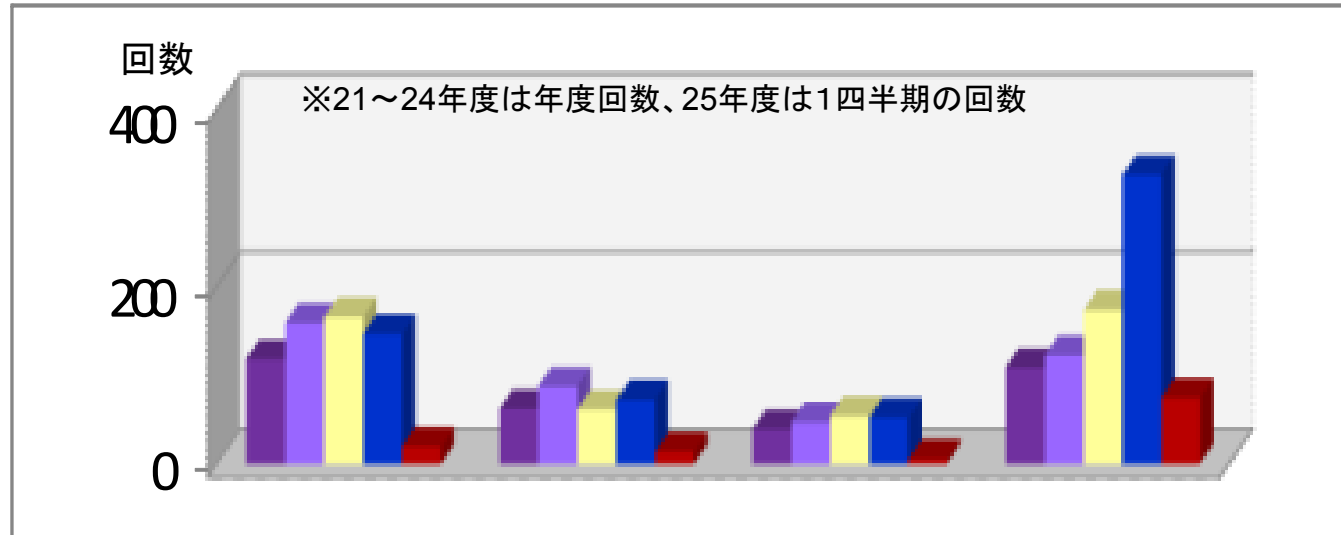
25. 6. 30現在



年度

航空方面隊別緊急発進回数の推移(過去5年間)

25. 6. 30現在



	北空		中空		西空		南混		合計	
■21年度	111	23	55	13	32	7	101	16	299	59
■22年度	151	33	80	16	40	4	115	12	386	65
■23年度	158	20	54	4	47	2	166	32	425	58
■24年度	139	39	65	12	45	12	318	19	567	82
■25年度		20		14		6		75		115

※ 各方面隊の左列は年度、右列は1四半期(4月1日～6月30日)の回数を示す。

国・地域別緊急発進回数(過去5年間)

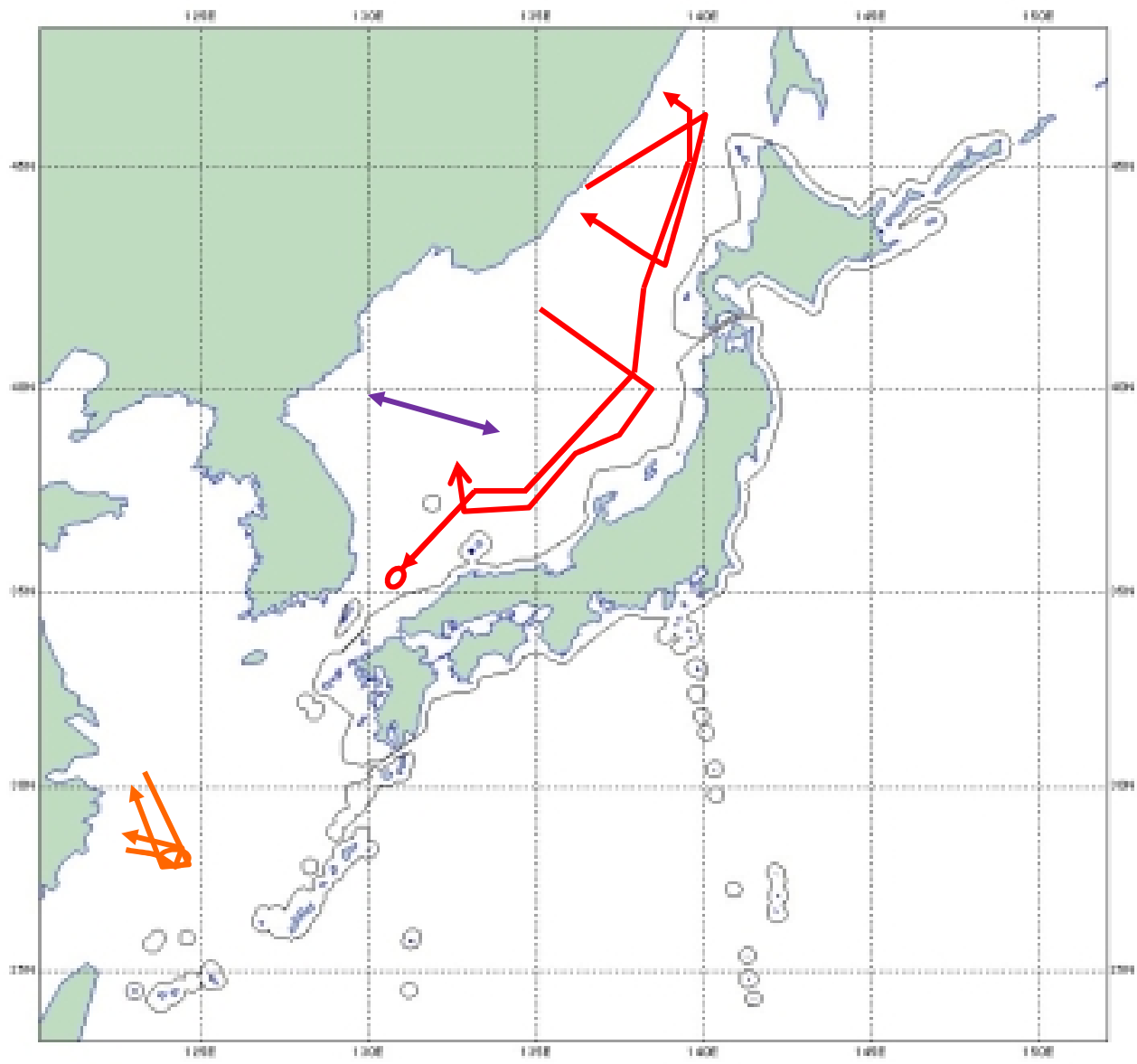
25. 6. 30現在

国・地域 年度	ロシア	中国	台湾	北朝鮮	その他	合計
2 1	33	12	4	8	2	59
	197	38	25	8	31	299
2 2	52	9	2	0	2	65
	264	96	7	0	19	386
2 3	24	27	2	0	5	58
	247	156	5	0	17	425
2 4	62	15	0	0	5	82
	248	306	1	0	12	567
2 5	31	69	0	9	6	115

※ 国・地域は、推定を含む。

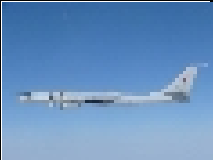

※ 上段は第1四半期(4/1~6/30)、下段は年度1年間の回数を示す。

緊急発進の対象となったロシア機、中国機及び北朝鮮機の飛行パターン例



- : 中国機の経路
- : 北朝鮮機の経路
- : ロシア機の経路

25年度における公表事例一覧(1四半期)

	月日	対象機の国籍等	行動概要	写真
1	25年4月27日(土)	ロシア TU-142 2機	北海道沖から対馬沖の日本海を飛行	
2	25年5月16日(木)	ロシア IL-38型 1機	東北沖から隠岐島沖の日本海を飛行	
3	25年5月31日(金)	ロシア IL-20型 1機	北海道沖から山陰地方沖の日本海を飛行	